

1 第2回学校活性化勝浦郡地域協議会における論点整理

- ・日 時 平成18年10月17日
- ・場 所 勝浦高等学校 研修館
- ・議 題 新しい学校のあり方について

次のようなご意見がありました。

<学校の方向性>

地域にとって必要な学校であり、この地域でしかできない教育を展開してほしい。そのためには、今までの勝浦高校のイメージを一新する徹底した個性ある学校づくりが必要。

活力と魅力ある学校とするには、ある程度の学校規模と生徒数が必要。できるだけ、定員を多く残してほしい。

中山間地域でも、存在感を示せる学校としたい。農業教育をベースに、4つのキーワード（流通・経営，環境，食育，福祉）をプラスし、新しい教育を考えてほしい。

勝浦の特徴である農業と福祉を活かして、出口（進路）の見える教育を行う。

<教育内容>

農業の将来を考えると、IT，バイオテクノロジー，LEDには夢があり、そうした先端技術が学べる教育。

就職に強い、一方で農業系大学や医療福祉専門学校への進学にも対応した教育。農業大学校や果樹研究所等の農業研究機関と連携を図り、より農業の専門性を高められるような教育。

農業海外研修など、農業科である勝浦の高校にしかできない特徴ある教育活動を考えることが必要。

<その他>

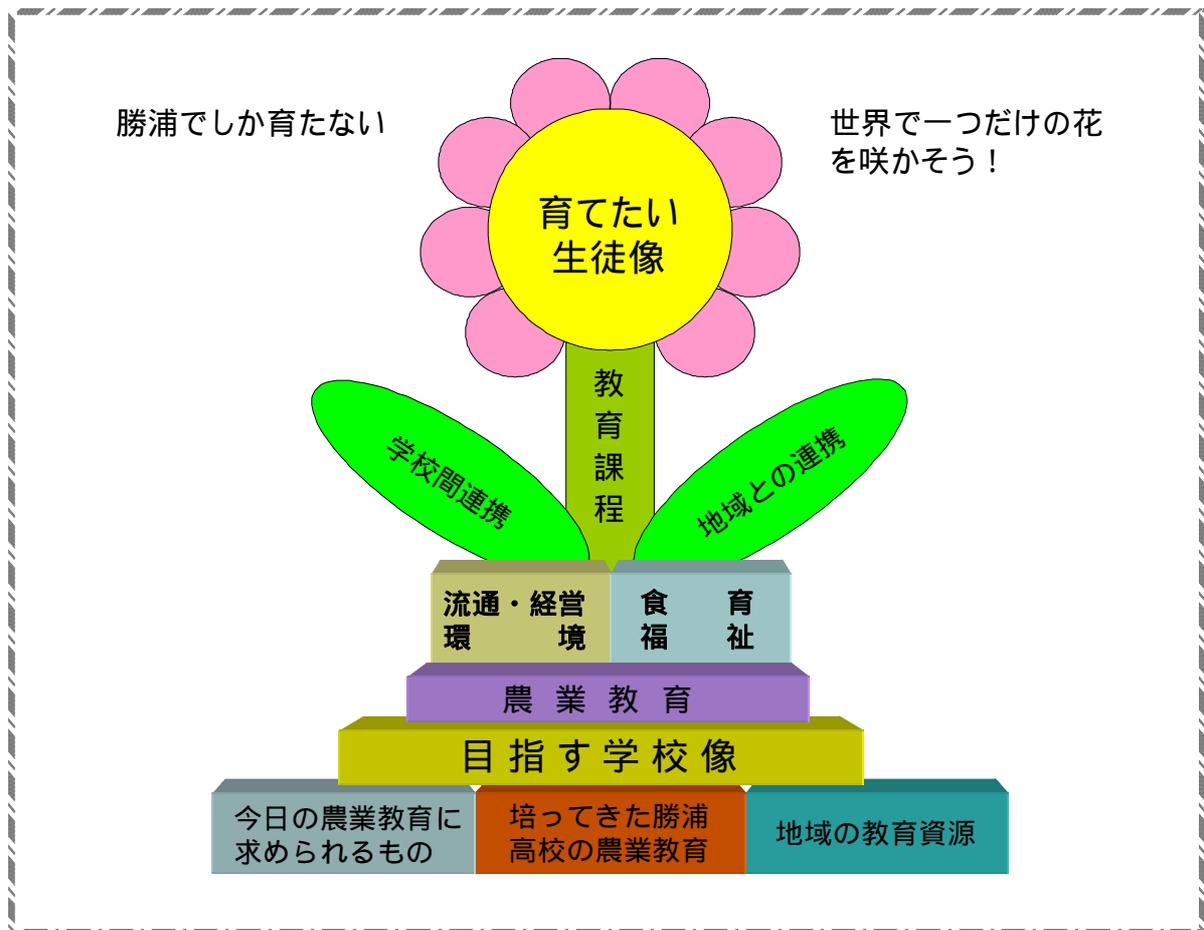
栽培指導を通じての小と高の連携は、豊かな人間性を育み非常に良いので、今後も続けてほしい。子どもたちの農業に対する興味・関心の育成、また勝高生の理解にもつながっている。

地域の資源を活用し、地域とともに歩む学校とする。

- ・「よってネ市」を利用した流通・販売の学習
- ・勝浦町の協力を得て、「パイロットファーム」の再活用

部活動が強いのは魅力。地域の伝統芸能（人形浄瑠璃）も大切にしていってほしい。

2 新しい教育の考え方



3 新しい教育の基本コンセプト

(1) 目指す学校像

(2) 育てたい生徒像

(3) 設置学科と教育内容

(4) 特色ある教育（学校間連携，地域との連携）